

[トゥルース]

# truth

VOL.4 富山初のスポーツマガジン

富山のスポーツの  
真実を伝える

2016 冬号  
Tスポートやま  
¥0 Takefree

新たなる夢を追う

相撲  
**黒川宗一郎&宏次郎**  
プロ野球  
**西野勇士&石川歩**  
水球  
**保田賢也**  
Sportsの力  
**増村佳奈**



ほおばる幸せ。

ほおばる幸せ。  
**富山米**



# Truth [トゥルース]

VOL.4 富山のスポーツの真実を伝える  
冬号

ホームページもできました!!

SOUICHIROU / KOUJIROU

NISHINO&ISHIKAWA

yasuda kenya  
kana masumura

TOYAMA  
SPORTS  
THREE TEAM

TOYAMA  
SPORTS  
MESSAGE BOARD

弾けるアイディア 固まる信頼

## SPECIAL FEATURES

- 02 相撲 黒川宗一郎&宏次朗  
兄弟それぞれ2度目の頂点狙う
- 04 プロ野球 西野勇士&石川歩  
地元で語った夢をかなえる方法
- 06 水球 保田賢也  
五輪代表入りへ故郷で決意
- 07 Sportsの力 増村佳奈  
ハンドボール×アイスホッケー
- 富山のプロチーム3球団のリアル情報
- 08 野球 富山GRNサンダーバーズ  
地元出身の針山、吉田  
目指せ「富山の星」闘志燃え
- 10 サッカー カターレ富山  
2015年シーズンを振り返る  
36試合全成績/新監督が抱負
- 12 バスケットボール 富山グラウジーズ  
水戸、いざ末踏の頂へ
- 14 富山のスポーツ伝言板  
富山マラソン体験記／女子ラグビー教室始まる  
※皆様からの耳寄り情報お待ちしています！

ファミマカフェのホットメニューで一息つきませんか

**MATCHA LATTE**  
**抹茶ラテ**

本体 139円  
(税込 150円)  
[糖分・乳成分入り]

生乳100%  
使用のミルク

**COCOA**  
**ココア**

本体 139円  
(税込 150円)  
[糖分・乳成分入り]

生乳100%  
使用のミルク

**TEA**  
**紅茶**

本体 93円  
(税込 100円)

※一部の地域、一部の店舗では販売いたしません。詳細は店頭にてご確認ください。

あなたと、コンビに、  
**FamilyMart** ファミリーマート 検索  
問合せ先／ファミリーマート富山営業所 Tel.076-422-9575

**ブレンドコーヒー ⑤サイズ**  
**1杯100円(税込)も好評販売中!!**

富山県内のファミリーマートで「Truth」を配布いただいているます！

「Truth」の配布にご協力いただいている店舗・事業所などは次の通りです。

あおき接骨院、KHEIR(ケイル)、スポーツドームエアーズ、ボンジュールSAKATA二口店、ボンジュールSAKATA富山駅前店、ボンジュールSAKATA高岡店、いっぽ堂、スポーツショップランナー、ノン・ビリィ、エコレ、山内武道具店、カフェ ジャック ラビット スリムス、アピアスポーツクラブ、西能病院、JSS富山インドアテニススクール、うな富、ビッグエッグ、ベースボールハウスMVP、すき焼 はやし、バイエルンスポーツ、(有)栄寿し、居酒屋醉虎伝、松長接骨院、竹接骨院、奥田接骨院、原接骨院、ヘアーサロンみずほ、いなみ木彌りの里 創遊館(道の駅 井波)、ねむり家、MUSCLE GYM TOKYO富山店、娘娘餃子、ステーキ すず屋、酒彩さんぽ、高岡ワイン倶楽部、nine、LIXILリフォームショップ ユニテ、Mag Haus、カフェ ゴッコ、ハウディーキオスクマーケット1931、ゴールドカレー富山豊田店、curry&bar nine (順不同)

このほか、富山県内のスポーツ・文化施設、公共の窓口、スポーツ団体の事務局、総合型地域スポーツクラブの事務局などで配布いただいているNPO法人Tspoとやまは、「Truth」の配布にご協力いただける事業所・店舗などを随時、募集しております。

# 2016年に挑む 2度目の頂点 相撲の黒川兄弟に聞く

聞き手 松井 克仁  
interviewer Katsuhito Matsui

写真 アイシン軽金属相撲部  
photo by Aishin keikinzoku sumobu

文・写真 若林 朋子  
text&photo by Tomoko Wakabayashi

普通の生活をしていては味わうことができないでしょ  
トーナメント戦を勝ち上がる時のあのスリル……



KUROKAWA  
Brothers

——ところで、宗一郎選手にとって、角界入りという進路選択は考えなかつたのですか？  
兄 金沢東高の1学年上に遠藤さんがおり、目をかけて指導してくださいました。「目標を持って稽古しろ」などの言葉に応えて誰よりも多く稽古しましたが、角界入りは「到底まねできないレベル」と感じました。  
「いつかは指導者になりたい」という思いがあるので、教員免許を取得し、アマチュア相撲の世界で頑張ることに決めました。会社員ですので、平日はウエイトトレーニングを中心で、まわしを付けるのは週末だけ。試合が続く5月から年末までは合宿が行われます。学生時代と比べれば練習量は減っています。職場の皆さんは気を使って練習や試合に集中しやすい環境を作ってくれています。

弟 僕は肉です。焼肉が大好き。  
——今はその半分ほどしか食べられませんね。  
兄 魚です。刺し身や寿司、ネタでいえば「えんがわ」が好きですね。

弟 朝7時から8時間の間に卵かけごはんなどを、約1合半食べます。昼は学食で定食とうどん。そして夕食までにパンやサンドウイッチの間食を取ります。夕食も定食、そして夜食として寝る前の午後11時に米飯5合と魚・肉などのメイン料理をガツツリ。この夜食が、体重増加に効くのです。

兄 ちなんに、それぞれの好物は何ですか？  
兄 魚です。刺し身や寿司、ネタでいえば「えんがわ」が好きですね。

弟 僕は肉です。焼肉が大好き。



## 弟「学生だけでなく、アマ横綱も狙う」

う。でも、自分はサラリーマンでありながら、勝負の感覚を持ち続けさせてもらっています。

——2016年の抱負を聞かせてください。やはり目標はそれぞれのひのき舞台での2連覇でしょうね。

弟 学生横綱、今年も狙います。そしてアマチュア横綱のタイトルも獲りたいですね。また、昨年は団体戦の成績がよくなったので、チームでもいい結果を残したいです。負けられません。世界選手権は選考会を経て出場が決まるので、まずは代表権を取ることが目標です。今年の世界選手権は、モンゴルで開催される予定ですので、体の大きい選手がたくさん参加することでしょう。出場できたならば、個人だ

けでなく、団体で日本が優勝できるよう頑張ります。

——全国大会での兄弟対決、盛り上がるでしょうね。楽しみです。ありがとうございました。



くろかわ・こうじろう 1995年7月7日生まれ、20歳、高岡市出身。定塚小、金沢市立西南部中、金沢東高卒、現在は拓殖大2年。2015年は全日本学生選手権優勝、全日本選手権3位。185センチ、150キロ。  
くろかわ・そういちろう 1992年3月19日生まれ、23歳、高岡市出身。定塚小、富山市立呉羽中、金沢東高、拓殖大卒、2014年にアイシン軽金属へ。15年は全日本選手権2位、世界選手権優勝。190センチ、160キロ。

## 兄「世界選手権、団体も優勝したい」

——まず、相撲を始めたきっかけを教えてください。

ご家族に相撲をしている方はおられますか？

兄・宗一郎 小学校入学前に交通事故に遭い、半年間も入院していました。そこで、勧められるままに、小学2年から始めました。父、姉、弟はバスケットボールをしていました。僕ら兄弟も最初はバスケットと相撲、両方をしていたのです。おかげで視野が広く、団体競技の経験から「ほかの人の技をまねてみよう」という気持ちがはぐくまれた気がします。

弟・宏次朗 僕は小学校入学する前から兄の影響で始めました。バスケットも小学時代は県大会で準優勝するほど強かったんです。おかげで柔軟性や器用さが身につきました。とはいえ、体格が「相撲向き」になり、中学では相撲一本に絞って、石川県内の中学に進みました。

——大学も同じ拓殖大です。武道系の運動部は稽古だけでなく、寮生活も厳しいと聞いています。現役大学生の宏次朗選手、大学生活について聞かせてください。

弟 体重140キロで入学し、1年間で10キロ落きました。考えて稽古するというより、ついていくだけ精いっぱい。環境に慣れるまで苦労しました。気持ちが安定したら、やうと体重が増えました。

兄 自分の学生時代は、左太ももの裏側の筋肉が断裂し、右手の甲を骨折するなど、けがに苦しみました。

——相撲の選手の食生活、興味がありますね。もう少し、詳しく聞かせてください。

——中学は、宗一郎選手が呉羽、宏次朗選手は金沢の西南部と別々の進路を選びましたが、高校は金沢東へ。4歳違いのお二人は、互いの成長をどんなふうに見ていたのでしょうか？

兄 宏次朗は基礎がしっかりとしていると思います。勝つことより、基礎を重視して稽古してきたのでしよう。おつけが強く、相手を下から持ち上げるようになります。高校時代はすでに、大学生のような稽古をしていましたね。

弟 兄は高校入学後、急に強くなった気がします。地道に頑張ったのでしょう。右の上手を取つたら強い印象ですが、必ずしも型にはまっていません。



——正直「何で勝てるのかな？」と思う時もあります。

2人とも、2016年に目指すのは、ひのき舞台での連覇だ。昨年、兄は世界王者、弟は学生横綱のタイトルを手中に収めた。気迫十分の兄弟インタビューに、ぜひ耳を傾けていただきたい

弟・宏次朗は焼肉が大好き……。  
兄の黒川宗一郎は魚介類に目がなく、食の好みが対照的なら、性格も、相撲のタイプも違う。しかし、相撲に取り組むひたむきな姿勢は共通している。

2人とも、2016年に目指すのは、ひのき舞台での連覇だ。昨年、兄は世界王者、弟は学生横綱のタイトルを手中に収めた。気迫十分の兄弟インタビューに、ぜひ耳を傾けていただきたい

たため感じた

# NISHINO & ISHIKAWA

文・写真 中沖 純一  
text&photo by Koichi Nakaoki

2人の登場を待つ球児たちの胸の高鳴りが伝わってくる。昨年12月19日に行われた野球教室。富山信用金庫が地域貢献の一環として主催し、県内の小学生15チームの約180人が参加した。控え室から石川と西野が姿を見せるとな会場の空気が一変。子どもたちは伸びびをして食い入るように視線を送った。

最初にマイクを握った石川は「短い時間ですが、みんな上手くなるために僕たちも頑張るので、ケガをしないように頑張りましょう」。続いて西野が「この中から1人でも多くプロ野球選手が出るように、そして楽しく野球をしてもらうために今日1日、一緒に野球しましよう」と呼び掛け、夢の時間がいよいよ始まった。

グループに分かれてのレッスンで、その途中、石川はゴロの捕球について指導を始めた。しかし、子どもたちの顔をみて、「やっぱりピッチングやりたい」と逆質問。「やりたい!」の大合唱にすぐさま方針転換し、一人ひとりの投球フォームをチェックした。良いところは褒め、改善点は優しくアドバイス。リリー・ス皮ントや下半身の使い方を重点的に解説し、「人終わるたびに『イエーイ!』とグータッチを交わした。一方の西野は高卒でのプロ入りにこだわり、育成選手から成功を勝ち取った。プロを目指すうえで富山の野球環境についてもあわせて尋ねると、「富山はプロを輩出する環境がまだ整っていないと思うけど、自分も整っていないところから出てきた。誰にだってチャンスがあることをわかって欲しい」と答えた。そして、「目標がプロなら、自分に足りないものや何をしなければいけないかが必ず見えてくる。自己分析をしたうえで『自分で自分を指導する』のが大事。目標さえしっかり立てられたら、あとはどれだけ本気になれるかだと思う」。入団後も、育成選手ではなく「本物のプロ野球選手になる」と心に決めて日々練習に臨んだ結果、「今の自分がある」と力を込めた。

西野の歩んだ道は対照的だが、野球を追求する姿勢には共通点があった。どこに身を置こうが、見つめる相手は自分自身であること、目標を明確に定めること、そして、とことん練習に励むことが大事だ。子どもたちに同様の高い意識を求めるのは少し気が早いが、野球の楽しさを知ったうえで、夢は大きく描いてほしい。それが具体的な目標に変わるかもしれない。2人は今回のふれあいを通じ、プロ野球選手という夢のかたちを身近にはつきりと示してくれた。その意義は小さくない。

西野は「自分で考えて、目標を持ってやることが大切。本気でプロになりたかったらある程度のところまではいけると思う。自分の能力を理解して、課題を克服するために短期的な目標をつづつクリアしていく。そして諦めずに続けること。僕は高校でなれ

## 投球フォームやボール遊び伝授



千葉ロッテマリーンズで活躍する富山県出身の2人は今や球界を代表する本格派右腕だ。石川歩投手は近年では数少ない先発完投型のエースであり、西野勇士投手は侍ジャパンの守護神としても期待されている。昨年12月、富山市で行われた野球教室とトークショーの模様をリポートする。

イベント企画運営・スポーツマネジメント「OUT FIELD」(新潟市)

### 球界一のネガティブ?

同日午後の「富山ベースボールプロジェクト」(チユーリップ)主催ではトークショーが行われた。約300人が会場を埋め、遠く千葉から駆け付けたファンもいた。

結婚して間もない2人には新婚生活についての質問もあった。奥さんについて石川が「料理が出来てかわいい感じ」とのろけると、西野は「お母さんみたい。よく叱られます」と笑いを誘った。

石川の思いがけない一面も明らかになった。西野が「石川さん、ソフトバンク戦の試合中『イ・デホ嫌やあつて言ひながらロッカールームに着替えにきますからね』と言うと、石川はにやりとしながら『絶対抑えられないですからね』と発言を認める。『石川さんはチームで『番ネガティブです』と西野。すぐさま石川は『いや、球界一だと思います』とおどけてみせた。お互いの人間臭いエビードの数々に会場は大盛り上がり。ここでも野球少年を相手に即席のフォームチェックや抽選会がありファンを喜ばせた。

### 自身を見つめ目標へとことん

イベントを終えた2人に、質問をぶつけた。「子どもたちはみなプロ野球選手になりたいと言うが、現実は厳しい。しかし、本気で夢を追う子どもと応援する親もいる。そんな人たちへのアドバイスを聞かせてほしい」

西野勇士(にしの・ゆうじ)  
高岡市出身、24歳。新潟高校を経て2008年の育成選手ドラフトで千葉ロッテマリーンズから5位指名を受け入団。12年に支配下選手登録されると、13年には先発投手として9勝を挙げ、翌年14年からは不動のクローザーとして活躍。昨シーズンは終盤にケガで戦線を離脱するも、34度のセーブ機会で失敗はゼロ。侍ジャパンにも選出されるなど球界でも高い評価を得ている。

石川歩(いしかわ・あゆむ)  
魚津市出身、27歳。滑川高校、中部大学、東京ガスを経て2013年のドラフト会議で読売ジャイアンツと千葉ロッテマリーンズから1位指名を受けた(外れ1位ではない入札1位、さらに球団が競合した点でも県内初)。1年目となる14年の開幕カードから先発登板するなどシーズンを通して10勝を挙げ、パ・リーグの最優秀新人に輝く(新人王の獲得も県内初)。昨シーズンも12勝と2年連続の2桁勝利を達成し、今後のさらなる活躍に期待が集まる。

## NPB戦士元で野球教室で聞く夢と方法一室でトーキーショーかなえる方ヨ



写真上・トーキーショーで質問に答える西野(左)と石川、同下・野球教室などで子どもたちとふれあう2人

増村さんにとって、ハンドボールは未知の競技で不安もあったが、行く先々で助けてくれるのは、アイスホッケーの指導者の知人や高校時代の恩師スポーツのつなぐ人々だ。あれからわずか2年、増村さんは、射水市の富山BPOタウンの配属となり、仕事として、スポーツチーム立ち上げに携わっている。

就職活動では、アイスホッケーしかやってこなかった自分と向き合った。プレステージの最終面接で社長からは、「スポーツばかりしているあなたは将来どんな姿を目指しているのか」と問われ、スポーツとは少し離れ、社会人として、しっかりと仕事をやろう、そう心に決めた。

## プレステージ・インターナショナルハンド部創部へ 広報担当として奔走する増村さん

# HANDBALL × ICE HOCKEY

文 松井 克仁  
text by Katsuhito Matsui  
写真 TOM  
photo by TOM



**増村 佳奈**

(ますむら・かな) 24歳。

富山市在住、富山いずみ高、東京女子体育大卒。小学4年時からアイスホッケーを始め、大学4年時にインカレで優勝。プレステージ・インターナショナル富山BPOタウンに勤務、現在は広報担当。



プレステージ・インターナショナル富山BPOタウンでは、ハンドボールチーム立ち上げのスタッフ・選手を募集中。  
問い合わせはTEL0765(57)3000(代)まで

2015年11月19日、射水市に拠点をもつプレステージ・インターナショナルが女子ハンドボールの実業団チームの設立を発表した。実はこのニュースリリースをマスクミに発信した広報担当の増村佳奈さん（24）は、女子アイスホッケーで大学日本一の経験をもつ。しかも、富山育ちのアスリートだった。

富山スケートセンターで、増村さんが男子に混じって、アイスホッケーを始めたのは、小学4年生。負けず嫌いな性格で、男の子と対等に扱われたことがうれしかったという。高校までは富山のクラブチームでプレー。女子チームへのあこがれから大学では、体育会女子ホッケー部に入部、初心者も多い中で、アイスホッケーに打ち込んだ。

4年生の時には、キャプテンとして、練習から先頭にたたけ汗を流し、チームをまとめた。そして、インカレで優勝。アイスホッケーには、無我夢中になる樂しさがあった。

増村さんは今、チーム発足に向け、選手の獲得に奔走している。アイスホッケーをやっていた経験があるからこそ、選手の気持ちに寄り添うことができる。選手の気持ちを伝え、従業員、地域の人たちに応援してもらえるチームにしたいがりに支えられていた。



## 「代表入りへ声援をお願いしたい」 リオ五輪出場権獲得水球日本代表の保田

文・写真 土田 由香里  
text&photo by Yukari Tsuchida  
写真 金森 正晃  
photo by Masaaki Kanamori



水球男子日本代表（ボセイドンジャパン）が2015年12月、中国・佛山で開催されたアジア最終予選で、アジアの宿敵・中国とカザフスタンを破り、見事優勝。リオデジャネイロ五輪の出場権を獲得した。水球日本代表の本大会出場は、1984年のロサンゼルス五輪以来となる32年ぶりとなる「ボセイドンジャパン」の保田賢也選手（富山北部高OB、ブルボンKZ）は1月9日から富山市の県総合体育センターで行われた「水球富山カップ」に出場、恩師や後輩を前に、リオ五輪への意気込みを述べた。

2015年は出場権獲得に向けて合宿の毎日。特に10月からは国内合宿だけでなく、グアム合宿、ブダペストやシドニー遠征と、ハードなスケジュールの中でトレーニングを積んでいたことを喜んでいた。会場では、保田選手を指導してきた富山北部高の砂子坂誠教諭と顔を合わせ、がっちり握手。砂子坂教諭は「リオ五輪代表に選ばれるよう、これからも体に気をつけて精進してほしい」と教え子に期待した。

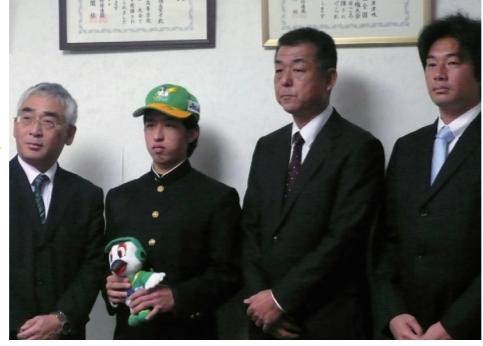
リオ五輪の代表メンバーは今春以降に正式発表される予定。アジア最終予選に出場した日本代表メンバーには、志賀光明選手（入善町生まれ、全日体大）も選出されている。

アジア最終予選、歓喜の輪の中にいた保田選手は「五輪出場は夢だった。周囲には出場を決めると言つて自分自身にかなりのプレッシャーをかけていたので、出場権を獲得出来てホッとしている。有言実行できて良かった」と喜びを語った。

ニシングを積んできた。ただ一つ、五輪出場という目標のために。



# 目指せ「富山の星」



吉田 凌太(よしだ りょうた)  
1998年3月13日生まれ、17歳。吳羽中、新湊高3年時には夏の県大会でベスト4。中学時代は、富山東部ボーイズに所属。164センチ、60キロ。左投左打。

## 新加入選手が入団会見



### 富山サンダーバーズ後援会会員募集

富山サンダーバーズ後援会は、豊かなまちづくりに寄与する魅力ある地域密着型球団になるための支援を目的としています。皆様のご入会をお待ちしています。

会員種別	年会費	会員証の発行	観戦チケット引換枚数	観戦チケット割引	グッズ特典	グッズ購入割引	オフィシャルマガジン
プレミアム会員	30,000円	<input type="radio"/>	シーズンバス+5枚	大人1,500円→1,000円 子供500円→300円 (カード1枚につき1人)	オリジナルピンバッジ &タオル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>
レギュラー会員	10,000円	<input type="radio"/>	8枚	大人1,500円→1,000円 子供500円→300円 (カード1枚につき1人)	オリジナルピンバッジ &タオル	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>

Webからも後援会の入会が可能になりました。郵便局での手続きが不要になり、インターネットがご覧になれる環境であればご自宅からもお申込みいただけます。詳しくは富山GRNサンダーバーズのホームページにてご確認ください <http://www.t-thunderbirds.jp/cart/index.html>

## ■ドラフト5位指名 吉田 凌太

新湊高校で、2年の春から背番号1を背負つて小さなエース・吉田。その活躍の舞台はB-Cリーグへと移る。小学校1年生の頃、幼心にテレビを見てかっこいいと思っていた野球。友人に誘われて始め、プロを目指すまでになっていた。高校への進学では、野球をするにはどの学校がいいかを考え、選んだのが新湊高校。監督・コーチの指導や設備、全てが恵まれていると感じた。残念ながら甲子園出場は果たせなかつたが野球中心の毎日の中で、「OBの方々からのアドバイス定評がある吉田にとって、参考になるNPBの投手に自分成長させてくれた」と吉田は振り返る。

新湊高校には、千葉ロッテマリーンズで活躍する西野勇士投手という、偉大な先輩がいる。吉田は以前、西野投手に会うことができた。憧れの大先輩が少し身近な存在になった瞬間だった。「体つきは全く違っていた」というが、投球については、フォークの握り方を参考しているそうだ。このことが、吉田が6種類もの球種を投げられるレパートリーの多さに繋がっている。内と外に投げ分けるコントロールの良さには定評がある吉田にとって、参考になるNPBの投手に自分成長させてくれた」と吉田は振り返る。

## ■地元枠指名 針山 由比呂

2015年11月28日、針山は富山GRNサンダーバーズからの指名を一人、動画配信で見ていた。名前を呼ばれた瞬間は、「ようやく『員』になれ」喜びと同時に「どれだけ自分の力が通用するのか」と不安な気持ちも現れた。地元枠指名とあって一番に名前が呼ばれたことに、「光榮なこと」と話す。

小学校3年生から本格的に野球を始めた針山は、中学からショートを任せられた。「ショートは、センターラインの一角で、守備の要ともいえるポジション。広い視野でプレーしなければならない」と針山。積極的なバッティングが持ち味の針山だが、守備の面でも積極性をアピールしてポジション獲得を目指す。憧れの選手は、埼玉西武ライオンズの浅村栄斗選手だ。初球から打っていく思いきりの良さ、守備でも見せる積極性。まさに、針山が目指すところ。富山は、内野手が不足しており、即戦力としても期待されるところだ。

針山は1年生の時、富山県高校野球連盟が台湾に派遣した選抜メンバーに選ばれた。野手で1年生は針山ただ一人。この経験が自信に繋がったと振り返る。3年の夏の県大会はベスト8。大会を終えてから、

# 地元出身の2選手が闘志

Har  
Yan

2週間は休養を取ったが、「そのうちに野球がしたくなるんです（笑）」自主練習に励む毎日がスタートした。走り込み、体幹トレーニング、ウエイトトレーニングと、体づくりに汗を流している。周囲からは、「ここからだぞ！」と声を掛けられている。富山は、小学生のころに観戦したことがある。今度は、チームの一員として、魅せる側であり、ファンを沸かせる側になる。

ようやくスタートラインに立った針山は、常に「全力プレー」で富山県民の期待に応えてくれるはずだ。

そして、更に上のNPBへ道を切り開いてくれるだろう。



聞き手・文 土田 由香里  
interviewer&text by Yukari Tsuchida

写真 富山GRNサンダーバーズほか  
text&photo by ToyamaGRNThunderbirds



針山 由比呂(はりやま ゆひろ)  
1997年5月19日生まれ、18歳。氷見北部中、氷見高3年時には夏の県大会ベスト8。175センチ、75キロ。右投右打

いつも頑張っているあなたに  
やっぱり天然木の家

**YAMA HIDE HOME**

お問い合わせはトナミオフィスまで  
**0763-32-7077**

ヤマヒデホーム本社 〒932-0212 富山県南砺市山斐 188 ㈹(0763) 82-0428  
トナミオフィス 〒932-1362 富山県砺波市鍋島 129-3 ㈹(0763) 32-7077

[www.yamahidehome.co.jp](http://www.yamahidehome.co.jp)

2016シーズンで10年目を迎える富山GRNサンダーバーズ。今季は、2名の地元出身選手が新たに入団する。ドラフト地元枠で指名された針山由比呂内野手(氷見高)と5位指名の吉田凌太投手(新湊高)だ。2人は、野球ができる喜びを感じながらNPBへステップアップの場としての大重要な時間を富山で過ごすことになる。2人の揺るぎない決意がそこにある。

**困難への対応力に未熟さ**

かという部分ではっきりしなかった。MF朝日大輔は「ピッチの11人が同じ絵を頭に描きながらプレーすることができないなかった印象。選手個々の力がほかのチームに劣っていたとは思わない」と話した。

チームは当初、敵陣からボールを奪いにくアグレッシブな守り、速攻とパスワークを織り交ぜた攻めによって対戦相手を圧倒する戦い方を目指していた。しかし、守備の固いJ3勢からなかなかゴールを奪えず、逆にカウンターアタックで隙を突かれて失点するケースが目立った。真っ向勝負を挑んだ第6節の山口戦に完敗して開幕から1勝1分3敗となり、岸野監督は戦術変更を決断。ロングボールでシンプルに攻撃陣のスピードとパワーを生かし、併せてカウンターによる失点のリスクも抑える戦い方にシフトした。

ここから3連勝を含む4勝1分1敗と持ち直しかけたが、第13節の福島戦から再びボールをつなぐ意識を高めた戦いを指示。これ以降は堅守速攻を基に据えながら組織の成熟と選手の成長を待った。7月には「徐々にチーム全体として動けるようになってきた」と岸野監督も手ごたえを感じていたが勝点は伸び悩み、昇格が遠のいた。

8月半ばの第25、26節はどうも終了間際に決勝点を挙げる勝負強さをみせた。ようやく岸野イズムの浸透が結果に表れ始めたようと思われたが、天皇杯での県予選敗退が引き金となり同月27日に監督交代が発表された。

岸野監督はその都度、チーム状況を考えて勝つ可能な高い戦い方を選んでいた。どこかの時点で歯車がかみ合い始めていたら異なる展開もあり得ただろう。監督は「富山の選手ははじめに生懸命に取り組むから必ず良くなる。課題はそのスピードを速めることだ」とよく口にした。しかし、戦術やメンバーを固めるまでに予想以上に時間がかかつてしまつた。苦労した要因はどこにあるのだろうか。

フロント側は前年も在籍した選手を中心いてチームを編成して岸野監督に託した。その後に補強した主力級はDF日高拓磨、MF北井佑季のみ。この戦力

三浦監督は「練習環境が整いボテンシャルのあるクラブだと感じた。目標は昇格であり、選手が成長して人間的にもスケールアップすること。この2つをはっきりと伝えておきたい」と意欲十分だ。

## 北九州時代の実績光る

三浦監督は2011年にJ2北九州を率いて前年にわずか1勝に終わったチームを気に8位まで引き上げおり、再建の手腕に期待が寄せられている。

選手は朝日大輔や大西容平らベテランが数多く抜けたが、新シーズンは三浦泰年監督を迎えてからは伸び悩み、昇格が遠のいた。

8月半ばの第25、26節はどうも終了間際に決勝点を挙げる勝負強さをみせた。ようやく岸野イズムの浸透が結果に表れ始めたようと思われたが、天皇

杯での県予選敗退が引き金となり同月27日に監督交代が発表された。

岸野監督はその都度、チーム状況を考えて勝つ可能な高い戦い方を選んでいた。どこかの時点で歯車がかみ合い始めていたら異なる展開もあり得ただろう。監督は「富山の選手ははじめに生懸命に取り組むから必ず良くなる。課題はそのスピードを速めることだ」とよく口にした。しかし、戦術やメンバーを固めるまでに予想以上に時間がかかつてしまつた。苦労した要因はどこにあるのだろうか。

岸野監督は前年も在籍した選手を中心いてチーム

を編成して岸野監督に託した。その後に補強した主

力級はDF日高拓磨、MF北井佑季のみ。この戦力

がJ2復帰という目標を達成できる水準に達してい

たかどうかについては見解が分かれる。フロント側は

若手選手の潜在能力と監督の手腕に期待している。

しかし、監督は「降格クラブが再昇格を果たすには

圧倒的な戦力が必要であり不十分」と感じていた。

「それでも」技術はJ3では上位と考えていたが、

それを実戦で発揮できない選手が多い」とこぼした

のは開幕直後。要求に応えてくれる選手の不足を補

うため試行錯誤が続くことになった。

チームには前年まで4年半にわたり率いた安間貴

義監督のところで培われた土壌があり、岸野監督が

自らの考えを浸透させるにも時間を要した。選手

の特性や組み合わせの相性などの把握にもてまどう

た感は否めない。新監督のチームづくりには時間がかかる。ましてや長期政権からの引継ぎだった。移

行が少しでも円滑になるようにフロンティ側の配慮と

サポートが必要だったのかもしれない。

J2では常にチャレンジャーであったが、J3に降格

すると二転してほかのクラブから目標にされマークが

厳しくなった。また、これまでチームと選手の成

長を我慢強く待ってきたが、J3で昇格を争う立場

になりその猶予も長くは許されなくなった。クラブ

として初めて経験するさまざまな困難に対処し切れ

なかつた印象が残る。監督解任に対する説明不足に

なかった印象が残る。監督解任に対する説明不足に

コレクティブに戦う ~三浦監督一問一答~					
——J2に昇格するためにから始めるのか。					
まずはわたし自身が選手たちを把握すること。そして選手に考え方や哲学、心の部分を浸透させていくことが大事。					
——どんなサッカーをやりたいのか。					
シンプルに言えば、流れるようなバスケットボールをやりたい。選手たちとじっくり時間をかけて互いの価値観を近づけ、わたしのやりたいサッカーと、彼らのやりたいサッカーが同じになるように進めていきたい。コレクティブに(組織的に)しっかりチームで戦えるようにする。誰かに頼るのではなく数多くのパターンを生み出して点を取る。					
——再建へのポイントは。					
選手に自信をもたせる、サッカーをやっていることに喜びを感じさせるのが大事だと考える。そこから勝ちにつなげる作業が重要になる。彼らにとって昨年はもがき苦しんだ、つらいシーズンだったと思う。昨季のことを前向きに受け止め、良い教訓にして戦う準備をすべき。伸ばした根で今季はしっかり花を咲かせようという気持ちでやってほしい。					

カターレ案内板					
3月20日にホーム開幕戦					
今年のJ3は16クラブが参加し2回戦制で行われる。第1節は3月13日、最終の第30節は11月20日。J2から降格の大分と栃木、JFLから昇格の鹿児島、F東京U-23、G大阪U-23、C大阪U-23の6クラブが初参戦。カターレの地元開幕戦は3月20日に富山県総合運動公園陸上競技場で福島と対戦する					
ファンクラブ会員を募集					
2016年のファンクラブ会員を募集している。特典はイヤープラックや会報(年3回)の送付、ゴール裏自由席招待券2枚、当日券購入際の会員割引の適用など。 <問合せ>カターレ富山 076-461-5200					



新体制・新加入会見でポーズをとる三浦監督(前列右から4人目)と新加入の選手10人やスタッフ。  
2016年のスローガンは「覚悟」

**カターレ富山は初めてのJ3で5位に終わった。**

**教訓を今後に生かさなければならぬ。**

**苦戦が続いた2015年シーズンを振り返る。**

**新監督に三浦泰年氏を迎え、3月13日の開幕に備えてトレーニングが始まっている。**

三浦泰年監督プロフィル 1965年静岡市生まれ、50歳。清水、V川崎などに在籍しJ1通算258試合出場。2011-12年に北九州、13-14年に東京V、15年にタイ・チェンマイの監督を務める。横浜FCの三浦知良選手は弟。

6季戦ったJ2からJ3に降格し、「1年での復帰」を目標に掲げたが5位に終わった。通算14勝10分12敗で勝点は52。序盤戦でつまずき、昇格争いに加わることさえできなかつた。8月末に岸野靖之監督を解任して澤入重雄ゼネラルマネジャーが監督を兼務したが成績は改善せず、最終的に1位の山口と2位の町田に勝点20の大差をつけられた。

総得点37は13クラブ中8位タイ、総失点36は同3位タイ。全36試合で先制点を奪えたのは13試合(11勝1分1敗)に過ぎない。得点力を欠き、守りも鉄壁とまではいかなかつたため接戦を勝ち切れず、連勝がままならないなかつた。

## チームづくりに手間どる

## 2015シーズン総括

# 未知だったJ3 挫折味わう

## 三浦監督で再建目指す

写真・文 赤壁 逸朗  
photo&text Itsuro Akabane

Internet / Design  
since 1996

インターネット&デザイン シーズプランニング  
930-0052 富山市五番町5-6 河上ビル4F  
TEL 076-425-5195 FAX 076-425-5183

Planning Inc.

bjリーグラストシーズン。

チームは、来季の新リーグ一部参入をきめた。

しかし、いつもと変わらない挑戦者としてのシーズン。

全ては「YUSHO」のために。

新リーグ開幕。怪我。来季の契約。

いざ、未踏の頂へ。

そんな雑音は気にならない。

いざ、未踏の頂へ。

そんな雑音は気にならない。

# 水戸 健史

み  
と  
た  
け  
し



みと たけし  
1985年4月23日  
南砺市出身  
bjリーグ富山グラウジーズ  
所属ポジションはガード  
185cm、75kg 背番号は9  
スピードを活かしたプレーが持ち味。  
好きな食べ物は、肉、魚。  
富山でよく行くお店は、高岡市の八五郎。中でもアジフライが大のお気に入り。

TOYAMA  
**GROUSES**

TURKISH  
AIRLINES  
bj-league

写真・文 金森 正晃  
photo&text by Masaaki Kanamori

## 弱くないチーム

bjラストシーズン。富山グラウジーズは有終の美を飾るべく激戦を開催している。

チームの生命線は起点となる水戸&城宝 匡史の日本人ガードコンビだ。

水戸のスピードと城宝のドライブは的を絞らせない多彩な攻撃を披露する。

水戸はそんな今季のチームをこう分析する。

しかし、結果は勝ちだから、鬼も角良しとする。

これこそ現在のグラウジーズが抱える最大の悩みであると水戸は危惧する。

解消するためには、チーム内の細やかなルールが必要だと言う。

bjラストシーズン未踏の頂のために安定したパフォーマンスを維持することが目的への課題である。

水戸・城宝のコンビも5シーズン目に入った。

リーグ屈指のコンビにこれから先、言い訳の余地はない。

## 城宝のフローターシュート

5シーズン共に戦う城宝から学んだことは多い。

4年前、城宝のフローターシュートに魅了された。

フローターシュートとは、小さい選手などがカットイ

ンをしてシュートをする際にボールをふわっと浮かせ、長身ディフェンスのブロックをかわすシュートのことだ。

とにかく彼のシュート練習を観察した。ディフェンスとの間合いの取り方、

とにかく彼のシュート練習を観察した。ディフェンスとの間合いの取り方、

やり続けることで不思議となるようになつた。

声を潜め、呼吸を感じて、自分のものにする。

水戸のポジションのガードは、攻撃の起点となるゲ

ムメーカーである。

## うまくやるテクニック

水戸のポジションのガードは、攻撃の起点となるゲ

ムメーカーである。

今起きている現象を読み解き、攻撃を組み立てる。イラついている相手を手玉にとる。4年前、城宝のフローターシュートに魅了された。ミスした仲間を気遣う。彼が学生の頃、ベットの上で生活するほど出無精だったという。人を使ったり道具を使ったりして一日ベットの上で過ごしたこともある。ここからも彼のうまくやるテクニックが見て取れる。ゲームメーカーにはうまくやるテクニックが必要だ。水戸はこれをチームスポーツにおいて欠かせない技術と考える。

## 積み上げた数字

12月20日に行われたbjリーグ第6節金沢武士団戦で1,000回アシストをマークした。水戸曰く、それは8年間やつてきたというだけの証。自分にとってチームの成績が重要なことだ。期待されていることはたったひとつ。プレイオフ優勝。それ以外は何もない。たぶんチームのみんなもそうだろう。

## 困難な壁を作らない

今、もしプロを目指して頑張っている君がいるなら応援する。

中学でダメでも、高校がある。高校がダメでも、大学がある。

自分も大学でチャンスをもらつて変わることができた。そこまで走つてみて、変化を受け入れる。

チャンスはみんなに平等にある。都会のチームが強いとか、地方の練習の質が低いとか。そなのは全部ウソ。

自分で困難な壁を作つてはいけない。それを証明すべく、水戸は今日もゴールを目指す。

## 富山グラウジーズの2月以降のホーム戦日程

**TOYAMA  
GROUSES**

※詳細な情報は球団ホームページをご覧ください。

月	日	会場	対戦チーム
2月	13日・14日	富山市総合体育館	福島
	27日・28日	富山市総合体育館	群馬
3月	5日・6日	黒部市総合体育センター	東京
	19日・20日	県総合体育センター	新潟
4月	9日・10日	富山市総合体育館	埼玉
	23日・24日	富山市総合体育館	青森

トスポとやまは  
富山発のスポーツメディア

**Truth**を  
発行・運営するNPO法人です。

## トspoとやまの活動

- 活字・写真・映像・SNSを活用した新メディア「Truth」の発行・運営
- 教室・講演会などスポーツ振興につながるイベントの開催
- スポーツ団体・選手の支援

富山のスポーツの真実を伝える。



# NPO法人Tスポとやま 2016年度 賛助会員募集

NPO法人「Tスポとやま」は、スポーツの力で富山を元気にしたいとの夢を実現するべく、県内のスポーツとそれに関わる皆さんを応援する活動を展開しています。

活動に賛同し支援いただける賛助会員を募り、2015年度は法人・団体45、個人63(1月現在)のみなさまにご登録いただきました。おかげさまで昨春に創刊した富山初のスポーツマガジン「Truth」は今回の冬号をもって年4回発行の目標を達成することができました。また昨年末には新たにホームページを開設してウェブでの情報発信も始めております。ご協力いただきありがとうございました。

Tスポとやまは今後も活動の充実を図り、2020年東京五輪・パラリンピックに向けてアスリートたちの挑戦を広く伝えて参ります。新年度も賛助会員を募集いたします。15年度会員の皆様ならびに県民の皆様には引き続きご助力をたまわりますようよろしくお願い申し上げます。

Tスポとやま代表 松井 克仁

## 【賛助会員】

企業・団体 : [年会費] ¥10,000(税込) / 1口  
個人 : [年会費] ¥3,000(税込) / 1口

※賛助会員には「Truth」(年4回発行)を送付いたします。また、同誌に御芳名を掲載します。会員期限は入会日から2017年3月末までとします。

## 【入会方法】

申込書を記入いただき、年会費を銀行振込などご入金ください。

◇振込先 北陸銀行 本店 普通6071056 特定非営利活動法人 Tスポとやま  
富山銀行 本店 普通3012357 特定非営利活動法人 Tスポとやま

※振込の場合は申込書を下記までFAXまたはメールでお送りください。ホームページからも申し込みいただけます。

◇FAX:0766-55-0009 ◇E-mail:nisennen@tspotoyama.com ◇問合わせ先 080-3461-5959(Tスポとやま事務局)

## 《Tスポとやま 賛助会員 申込書》

ご芳名(または企業団体名)	ふりがな		
ご住所(「Truth」のお届け先をご記入ください)	〒		
電話番号	( )		
メールアドレス	@		
「Truth」巻末の社名・氏名掲載希望の有無	掲載を希望する (右欄に掲載名をご記入ください)	掲載名	希望しない
口数・金額	(法人・個人)いずれかに丸をお付けください	金額 円	
お支払方法(いずれかに丸をお付け下さい)	現金	・	銀行振込

※申込書をFAXなどで送付ください

<個人情報の取り扱いについて>皆様からお預かりした個人情報については「Tスポとやま」の活動関係事務のみに使用し、それ以外の目的に使用したり、第三者に開示したりすることはございません。

## Tスポとやま 賛助会員の皆様(2016年1月20日現在)

### 【法人会員】

津根精機、東亜電工、ホテルよし原、澤川鍛造工業、澤田製作所、岩沢製作所、富山技販、KANAYA、富山機械工業センター、山崎機工、旭産業、日伸精機、石金精機、内山精工、エヌアイシ・オートテック、岡崎工機、伸栄商会、大日工機、藤堂工業、ユニゾーン、田中精密工業、高岡ケーブルネットワーク、ウィーズ、春日産商、藤田内科クリニック、野中精機製作所、潤観光開発、サニーライブグループ、北陸バロン美装、五感リゾート牛岳、医療法人財団 五省会西能病院、前川歯科クリニック、アルミファクトリー、バイエルンスポーツ、一般社団法人パレススポーツクラブ、ねむり家、富山県総合警備保障、ヤマヒデホーム、ジャストドゥイット、学校法人荒井学園、千山道場、クラブJoy、北陸機材、JUMP MARUYAMA

(順不同)

### 【個人会員】

田中英一郎、田中光子、田中龍郎、田中一郎、渋谷春男(北京飯店)、若林浜子、松井勝馬、牧内直哉、嶋田利隆、木津裕、石浦昭雄(Ishi-G 雜樂)、石須康友、岡村妙子、河崎克彦、澤川幸七、澤川美幸、澤川幸利、澤川泰子、田村勉、豊田麻衣、成田光雄、成瀬昌朗、竹内元人、若林良、杉岡史磨、田形衛、伊東与二、大辻保、高岡茂樹、清水善光、早藤績、松本裕典、山中茂、西野由香、谷崎文保、南雲公子、清見昇、鈴木八十善(ステーキ すず屋)、森口寿志高(酒彩さんぽ)、黒田明、澤田利浩、上野勉、横嶋好子、谷井康彦、竹田克史、小林浩、北井誠、井城斎加、川渕映子(アジア子どもの夢)

(敬称略、順不同)

NPO法人Tスポとやまは賛助会員と、配布に  
ご協力いただける企業やお店等を募集しています。

### 【編集後記】

・年4回発行という目標を皆さんのがお手伝いできました。2016年はオリンピックイヤーです。富山発の感動のスポーツシーン、その裏側に隠された真実を誌面とWebでお伝えしていきます(松井)  
・駅伝、サッカー、バレーボールと、高校の全国大会で県代表の頑張りが目立った年末年始でした。地元のライバルや後輩たちはその活躍に勇気づけられ、「次は自分が」とさらなる高みを目指すことでしょう(赤壁)  
・サッカーJFA公認C級ライセンスを保持している私ですが、このまま順調に失効しそうです。何とかしてポイントを稼がねば。(笑)(金森)  
・ウインタースポーツの季節がやってきました。友達と。家族と。一人で。様々なシチュエーションでのスキーライフを楽しみたいと思います(小林)  
・水球日本代表として、リオ五輪出場権獲得に貢献した保田賢也選手。取材した選手の活躍を続けて紹介することができるは、私の大きな喜びになりました。WEBでもインタビューを紹介しています(土田)  
・取材を通して様々なトレーニングについて勉強すればするほど、スポーツの奥深さと選手が秘める進化の可能性にワクワクしてきます(中沖)  
・今後、インタビューしてみたいと思うのは、フィギュアスケートの村上大介選手です。米国を練習拠点としているようですが、富山に足を運ばれる機会はないのでしょうか? お待ちしております!(若林)

NPO法人 Tスポとやま 富山初のスポーツマガジン「Truth」発行・運営  
〒932-0817 小矢部市小神204-3 代表:松井克仁  
TEL:080-3461-5959 E-mail:nisennen@tspotoyama.com  
HP : <http://tspotoyama.com/>  
Facebook:<https://www.facebook.com/tspo.truth>

顧問:田中一郎

STAFF:赤壁逸朗/金森正晃/小林永/坂野上満/谷尚人/土田由香里/中沖絢一/永森茂/松井克仁/若林朋子

DESIGN:TIME PLANNING JAPAN 株式会社

**Truth 春号は2016年4月下旬発行予定**